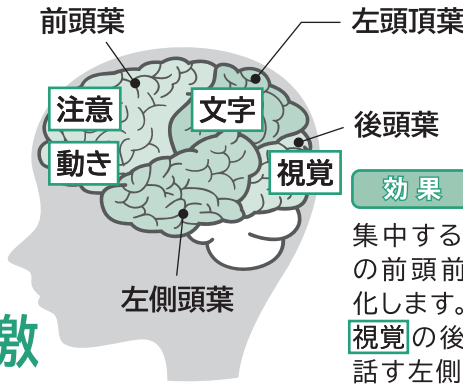


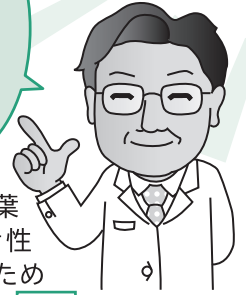


今回のテーマ

文字探しで脳刺激



紛らわしい文字に
注意しましょう。



効果

集中するため**注意**の前頭葉の前頭前野が働き、脳を活性化します。また、文字を見るため**視覚**の後頭葉が働き、作った**文字**を理解し、話す左側頭葉・前頭葉も活性化します。

昔話の文中で、指示されたひらがなに斜線を入れて消しましょう。

1. 1分間で、できるだけ早く『お』と『を』を消しましょう。
2. 同様に、『か』と『が』を消しましょう。

例

お ば あ さ ん は 大 き な 桃 を ひ ろ い あ げ て … ※答えは漢字の中にもあります。

むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。

おじいさんは山へしばかりに、おばあさんは川へせんたくに行きました。

おばあさんが川でせんたくをしていると、ドンブラコ、ドンブラコと、大きな桃が流れてきました。

「おや、これは良いおみやげになるわ」

おばあさんは大きな桃をひろいあげて、家に持ち帰りました。

そして、おじいさんとおばあさんが桃を食べようと桃を切ってみると、なんと中から元気の良い男の赤ちゃんが飛び出してきました。

「これはきっと、神さまがくださったにちがいない」

子どものいなかったおじいさんとおばあさんは、大喜びです。桃から生まれた男の子を、おじいさんとおばあさんは桃太郎と名付けました。桃太郎はスクスク育って、やがて強い男の子になりました。そして、ある日、桃太郎が言いました。

「ぼく、鬼ヶ島(おにがしま)へ行って、わるい鬼を退治します」

おばあさんにきび団子を作ってもらおうと、鬼ヶ島へ出かけました。旅の途中でイヌに出会いました。

「桃太郎さん、どこへ行くのですか？」

「鬼ヶ島へ、鬼退治に行くんだ」

「それでは、お腰に付けたきび団子を1つくださいな。おともしますよ」

イヌはきび団子をもらい、桃太郎のおともになりました。



集中して素早く見つけましょう！

和歌山県立医科大学大学院
保健看護学研究所

上松 右二 教授

021-『4』・011-『4』'2
09-『4』・003-『4』'1

7